

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73217	1	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)		公衆衛生看護援助論Ⅰ（対象別公衆衛生看護活動） (Public Health NursingⅠ)			
担当教員名		伊藤 美千代／齋藤 尚子／崎山 紀子			
授業の概要及び到達目標					
公衆衛生看護学の基本的理念や歴史的背景について理解し、行政保健、産業保健、学校保健における公衆衛生看護活動の概要について学習する。 個人・家族・集団・組織を含むコミュニティ（共同体）及び地域を構成する人々の集合体の健康増進・改善を目指すアプローチの基本的な考え方を学ぶ。 コミュニティの健康課題を、生活習慣、環境との関係性を導きながら抽出する方法と、自身の考えを伝える方法を学ぶ。 下記を到達目標とする。 ・ 様々な人の暮らしと健康を理解する。 ・ 公衆衛生看護学の基本的理念を説明できる。 ・ 集団を対象としたアセスメント方法を理解し、枠組みを説明できる。 ・ 保健所、市町村、学校、企業における対象者の特徴と公衆衛生看護活動の概要を説明できる。 ・ 地域住民の健康を支える仕組みについて、その歴史的背景を踏まえ理解し、概要を説明できる。					
準 備 学 習 等					
・ 授業の前後に教科書の該当範囲を読んでおくこと。また、同時期に開講される「公衆衛生学」で学んだ内容と統合しながら、公衆衛生看護活動の理解に努めること。 ・ 本講義ではグラフ等の統計データを使用する。1年前期に開講された「データサイエンス」の講義を復習し、グラフの読み方やデータの解釈方法を理解しておくこと。					
成績評価の方法	定期試験（50%）、グループ学習の参加態度・レポート（40%）、小テスト・レポート（10%）により評価する。				
テキスト	・ 荒賀直子・後閑容子編集,「公衆衛生看護学.jp」第4版データ更新版,インターメディカル,2017 ・ 「国民衛生の動向 2018/2019」(第65巻第9号),厚生労働統計協会,2018				
参考図書	・ 宮崎美砂子 他,「最新 公衆衛生看護学 第3版 2019年版 総論」日本看護協会出版会,2018 ・ 井伊久美子 他,「新版 保健師業務要覧 第3版 2019年版」日本				

	看護協会出版会,2019 ・ 各種白書（子ども・若者白書、高齢社会白書、障害者白書など）
備 考	・ 本科目の単位取得は、公衆衛生看護援助論Ⅱ、公衆衛生看護援助論Ⅲ、および、公衆衛生看護学実習履修の前提条件となる。
授 業 計 画	
1. 公衆衛生看護学とは：公衆衛生看護学の概念、現代社会における公衆衛生課題 （教科書：目次、第1章 公衆衛生看護学概論） 2. 地域看護活動のツール：家庭訪問、健康相談、健康教育、健康診査、地区組織活動・グループ支援の理解（教科書：第3章 地域保健活動ツール） 3. 母子保健活動：母子保健の理念、健やか親子21、子育て支援・児童虐待防止の取組み （教科書：第4章Ⅱ母子保健活動） 4. 成人保健活動：成人保健の理念、健康日本21、特定健康診査・保健指導、がん検診 （教科書：第4章Ⅲ成人保健活動） 5. 高齢者保健活動：高齢者保健の理念、介護予防 （教科書：第4章Ⅳ高齢者保健活動） 6. 感染症保健活動：感染症保健の理念、結核・HIV等の対策 （教科書：第4章Ⅷ感染症保健活動） 7. 難病・障害者保健活動：難病保健・障害者（児）保健の理念、健康管理と職業生活の両立支援を含めた支援活動と地域支援システムの理解 （教科書：第4章Ⅴ難病保健活動 Ⅵ障害者（児）保健活動） 8. 精神保健活動：精神保健の理念、うつ病・自殺対策 （教科書：第4章Ⅶ精神保健活動） 9. 産業保健活動：労働安全衛生管理、職業病・作業関連疾患・過重労働など （教科書：第6章Ⅱ産業保健） 10. 学校保健活動（船橋市養護教諭）：学校保健の仕組みと機能、地域との連携 （教科書：第6章 学校保健） 11. 保健師活動の実際 12. 現代社会における健康課題のアセスメント①（グループワーク） 新聞記事等から関心のあるテーマを選び、なぜ問題になるのか/どうしてこのようなことが起こるのかについて、アセスメント図を描きながら考える。 13. 現代社会における健康課題のアセスメント②（グループワーク） 他者にわかりやすく伝えるための発表資料を作成する。 14. 現代社会における健康課題のアセスメント③（発表会） 15. 災害保健活動：災害とは、災害サイクルと保健活動（教科書：第5章Ⅱ災害保健活動） グループワークのまとめ：保健師の施策化・事業化 *授業の進捗度・理解度により変更する場合もある。	